

第11回次世代ポリオレフィン総合研究会 プログラム

2016/7/28

NO.	8月4日(木)	発表者	座長	所属	講演題目
	10:30-10:35	寺野 稔(開会の辞)	寺野	北陸先端大学	
1	10:35-11:00	野村 琴広	塩野	首都大学東京	オレフィン重合・二量化に有効な遷移金属錯体触媒の設計・合成と機構解析
2	11:00-11:25	岡本 勝彦		三井化学	ポリオレフィンの高機能化と用途展開
3	11:25-11:50	河野 浩之		東邦チタニウム	プロペン重合用触媒の最近の動向と東邦触媒について
4	11:50-12:15	松前 あかね		佐賀大学	共創のメカニズム—イノベーション共創コミュニティ形成への適用—
	12:15-13:15	昼食(60分)			
5	13:15-14:05	秋元 英郎(基調講演)	野村	秋元技術士事務所	軽い樹脂を更に軽くする ポリプロピレンの発泡成形と自動車への用途展開
6	14:05-14:30	徳満 勝久		滋賀県立大学	ポリエチレン系材料のアルコール中における環境応力破壊の研究
7	14:30-14:55	五十嵐 敏郎		金沢大学	ポリエチレンの劣化機構と非破壊劣化診断法の開発
8	14:55-15:15	松山 裕一郎		首都大学東京	化学系特許の最近のトピックス
	15:15-15:30	休憩(15分)			
9	15:30-15:55	中谷 久之	徳満	長崎大学	マイクロプラスチック化防止用光分解触媒の開発
10	15:55-16:20	山田 英和		住友化学	自己相補的水素結合部位を導入した超分子ポリプロピレンの合成と力学特性
11	16:20-16:45	小室 綾平		日本合成化学	EVOH系バリア包材の動向と課題
12	16:45-17:05	中田 泰子		北陸先端大学	地域運動型イノベーション創生システムとしてのMatching HUBの展開
13	17:05-17:25	辻 賢司・陶山 正夫		シーエムシー出版・AndTech	化学産業の成長分野
	17:25-17:30	寺野 稔(連絡事項)		北陸先端大学	

17:45-19:45 懇親会 ドンナドーロ 司会:川本

	8月5日(金)	発表者	座長	所属	講演題目
14	10:10-10:35	小林 豊	魚住	プライムポリマー	ポリプロピレン複合材の低線膨張化メカニズム
15	10:35-11:00	高橋 邦宜		日本ポリプロ	新規重合型長鎖分岐ポリプロピレン™ WAYMAX™ のご紹介
16	11:00-11:25	新田 晃平		金沢大学	ポリプロピレンの延伸破壊特性
17	11:25-11:50	青木拓・堀田篤		慶応義塾大学	ポリオレフィン材料の高ガスバリア化に向けたダイヤモンドライクカーボン(DLC) 薄膜コーティングの開発
18	11:50-12:15	小林 俊哉		九州大学	化学工業系公設試験研究機関の地場産業への貢献事例の分析
	12:15-13:20	昼食(65分)			
19	13:20-13:55	志賀 昭信(基調講演)	岡本	ルモックス技研	“旧”ポリオレフィン物語: 習うことから始まった日本のポリオレフィン工業
20	13:55-14:20	小柳津 英知		富山大学	中国の対日アンチダンピングが化学製品に集中する背景と日本側の対抗策の問題点
21	14:20-14:45	田中 亮		広島大学	ネオジム触媒系を用いたステレオブロックポリ共役ジエンの合成
	14:45-14:55	休憩(10分)			
22	14:55-15:20	清水 辰也	山本	ADEKA	イントメッセント難燃剤の性能発現メカニズムと耐候性における特長
23	15:20-15:45	清水 研一		都立産業技術研究センター	添加剤処方異なるポリプロピレンの耐候性
24	15:45-16:10	寺野 稔		北陸先端大学	Ziegler-Natta触媒における未解決問題
25	16:10-16:35	谷池 俊明		北陸先端大学	ポリオレフィンの研究開発におけるスループットの向上
	16:35-16:40	谷池俊明(閉会の辞)			北陸先端大学